



Mitsui Chemicals

**Strong & Excellent**

「強い三井化学グループ」の  
実現をめざして

2004年5月18日

社長 中西宏幸

# 目次



1. 経営ビジョンと07年の企業像
2. 04中計がスタート
  - (1) 海外事業展開
  - (2) 中国での事業展開
  - (3) 出光グループとの協調検討
  - (4) 新製品開発
  - (5) グローバルなサイエンス・ネットワークの構築
  - (6) 三井化学 新情報システムが順調に立上がる

# 1. 経営ビジョンと 07年の企業像

# 経営ビジョン

## 企業理念

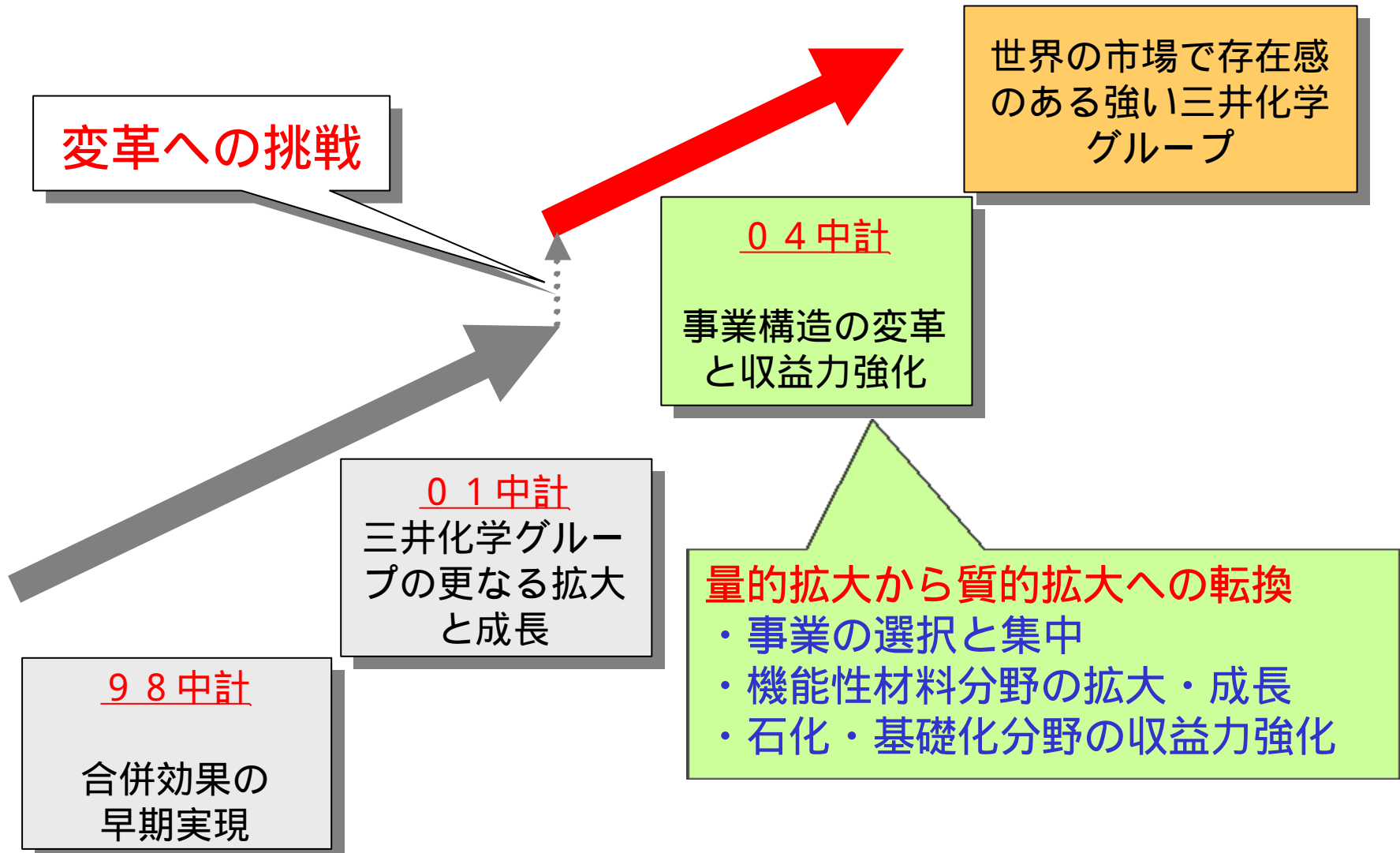
地球環境との調和の中で、**材料・物質の革新と創出**を通して  
高品質の製品とサービスを顧客に提供し、  
もって広く社会に貢献する

人類福祉への増進    株主への貢献    顧客満足増大  
地域社会への貢献    従業員の幸福と自己実現

## 目指すべき企業像

**世界の市場で存在感のある強い三井化学グループ**

# 成長の方向



変革を支える革新的な企業風土

# 事業ポートフォリオの変革

機能性材料

拡大・成長

情報・電子材料

機能性ポリマーズ

ヘルスケア材料

石化・基礎化分野

競争力の母体

収益力強化

プロピレンチェーン

アロマチェーン

構造変革を可能にする革新的な企業風土



---

## 2.04 中計がスタート

- (1) 海外事業展開
- (2) 中国での事業展開
- (3) 出光グループとの協調検討
- (4) 新製品開発
- (5) グローバルなサイエンス・ネットワークの構築
- (6) 三井化学 新情報システムが順調に立上がる

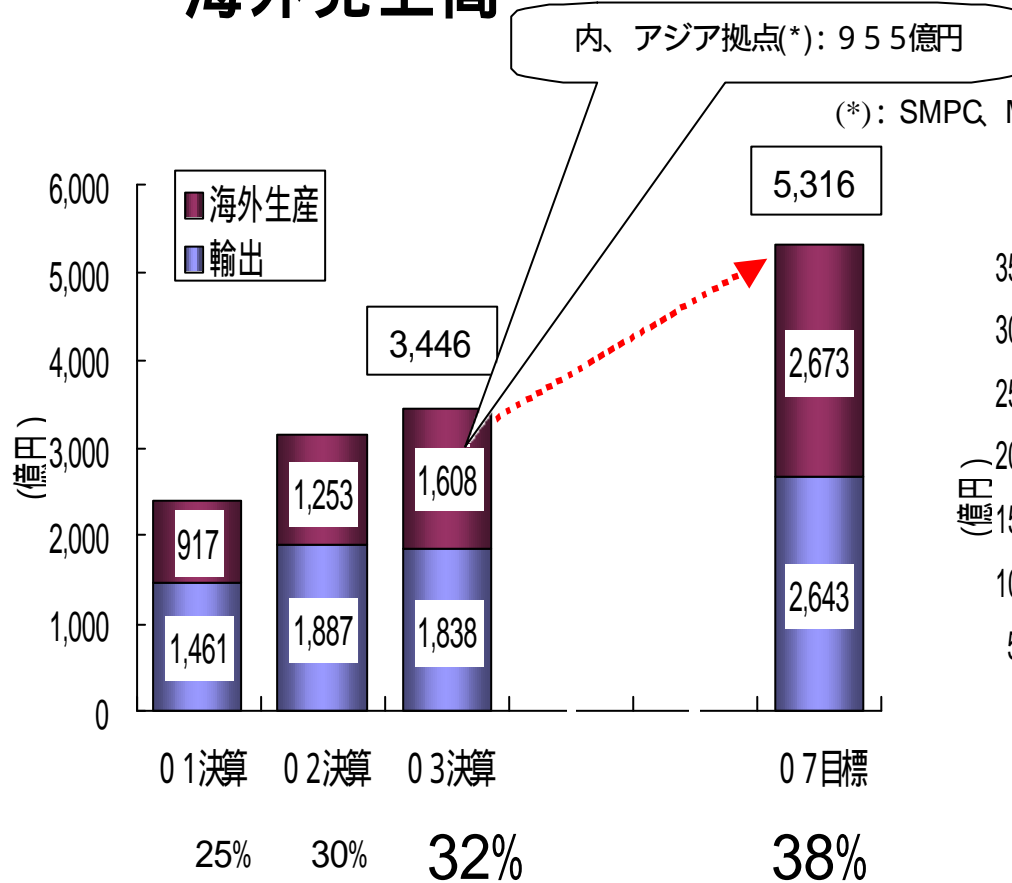


# (1) 海外事業展開

# (1) 海外事業展開

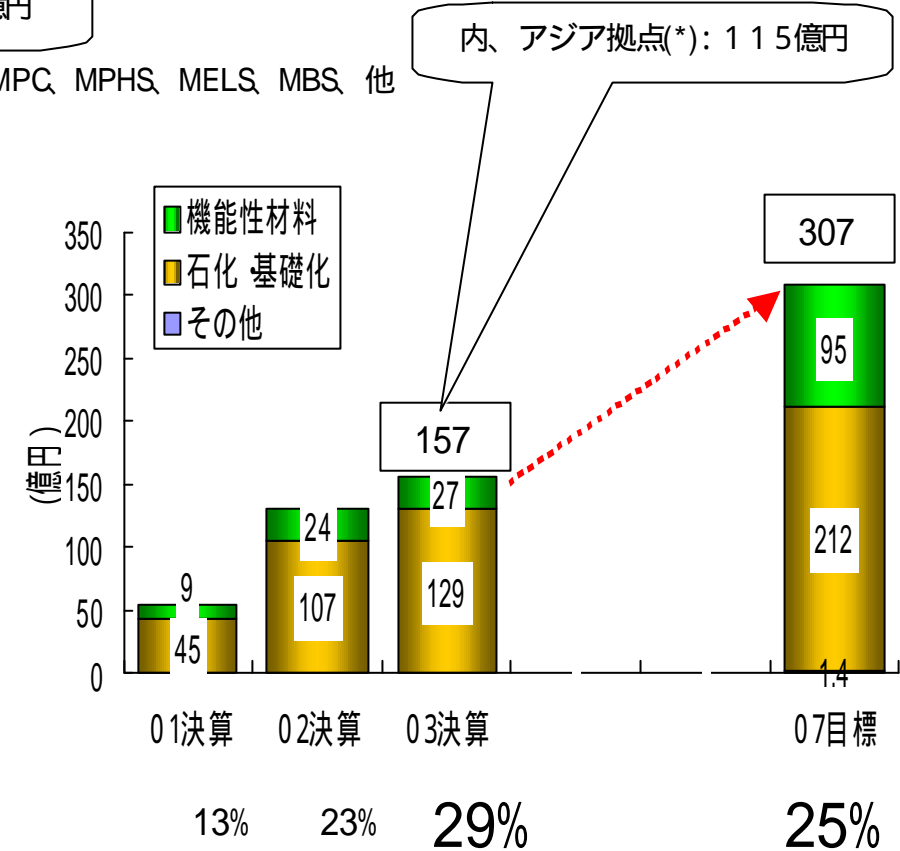
## 海外売上高・海外生産営業利益(01~07年)

### - 海外売上高 -



連結売上高に対する割合

### - 海外生産営業利益 -



連結営業利益に対する割合

(1)海外事業展開

**アジア地区で次々に立ち上がるコア事業  
- 石化・基礎化分野 -**

- PPコンパウンド
- PTA
- フェノール、BPA
- PET樹脂

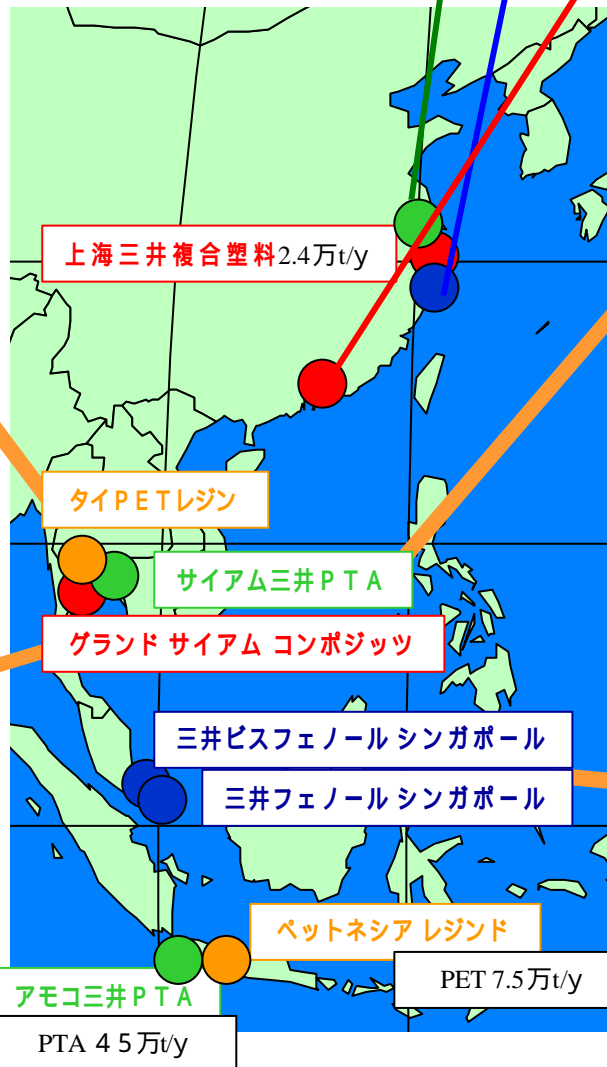
**PTA 新会社 (江蘇省、張家港)** 60万t/y、 嘗08年

**BPA 新会社 (上海)** 12万t/y、 嘗06年7月

**PPコンパウンド 新会社 (広東省、中山)** 1.5万t/y、 嘗05年春



**PET樹脂 10万t/y新設**  
完工03年12月 営業運転04年4月



上海三井複合塑料2.4万t/y

タイPETレジ

サイアム三井PTA

グランドサイアムコンボジット

三井ビスフェノールシンガポール

三井フェノールシンガポール

ベトナムシアレジ

アモコ三井PTA

PTA 45万t/y

PET 7.5万t/y



PTA +10万t/y 90万t/y  
完工・営業運転04年2月

PTA +50万t/y 140万t/y  
完工05年8月、営業運転05年10月



**PPコンパウンド**  
+0.8万t/y 3.8万t/y  
完工04年7月  
営業運転04年8月



BPA +7万t/y 21万t/y  
営業運転03年1月

フェノール +5万t/y 25万t/y  
営業運転02年11月

# アジア地区における機能性材料分野の事業展開

- 機能性オレフィンポリマー
- ウレタン
- 情報・電子材料
- ヘルスケア材料
- 工業樹脂



不織布 14,000t/y新設  
営業運転03年3月

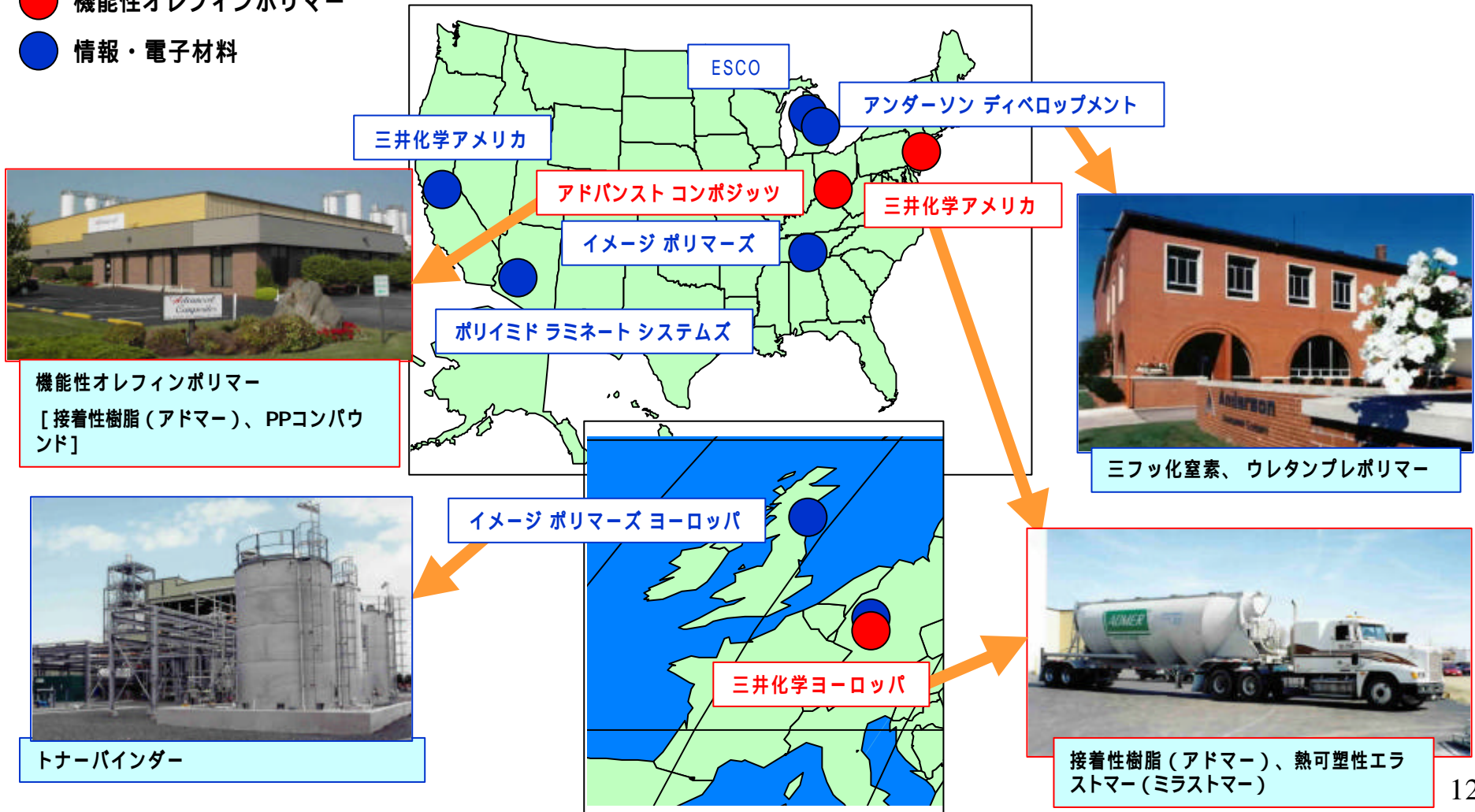


タフマー 10万t/y新設  
営業運転03年4月

(1)海外事業展開

# 欧米における機能性材料分野の事業展開

- 機能性オレフィンポリマー
- 情報・電子材料



## (2) 中国での事業展開

## (2) 中国での事業展開

### 三井化学グループの中国拠点

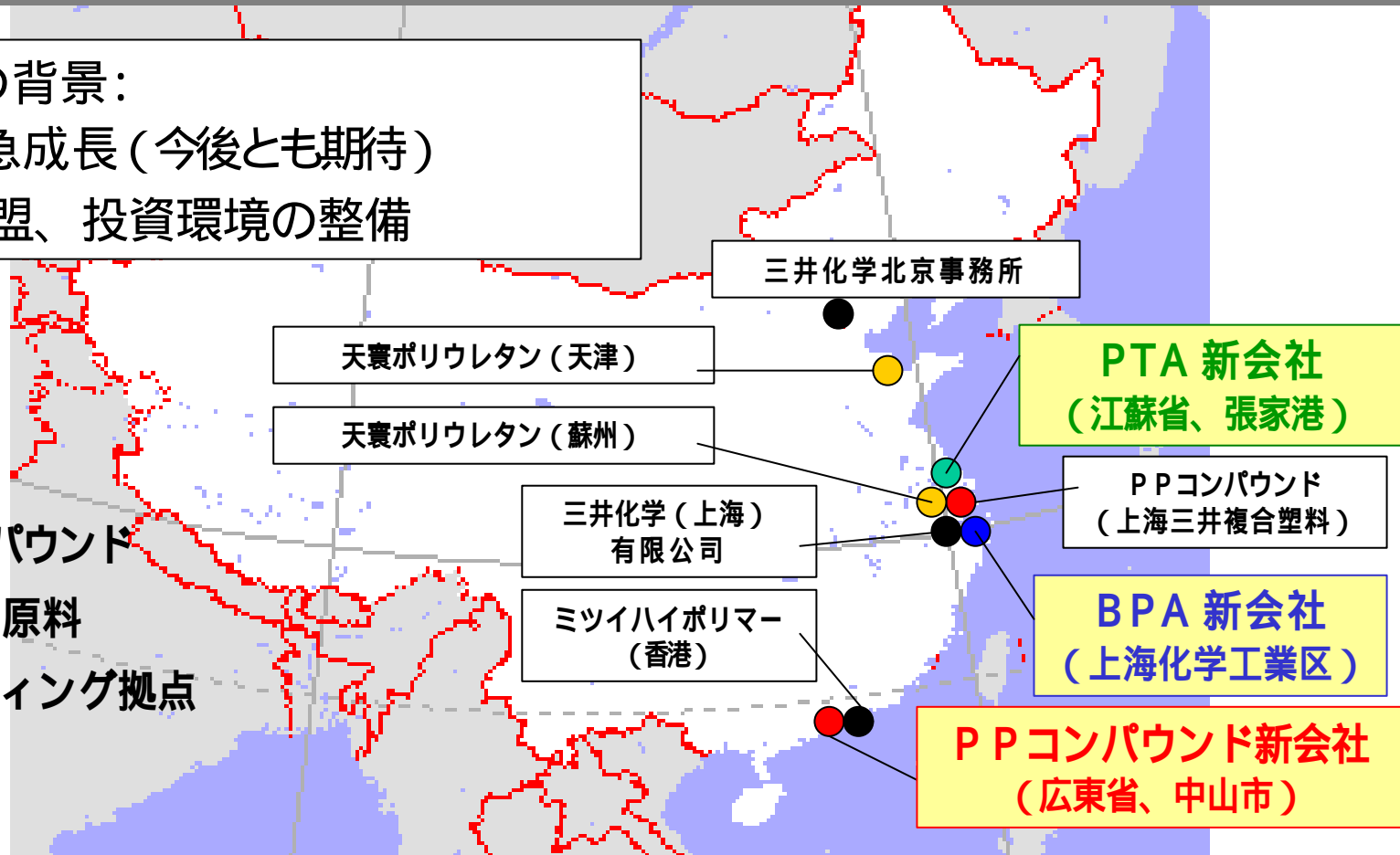
- 南アジア(シンガポール、タイ、ネパ)から中国に至る環太平洋地区の拠点を構築 -

中国展開の背景:

需要が急成長(今後とも期待)

WTO加盟、投資環境の整備

- PTA
- BPA
- PPコンパウンド
- ウレタン原料
- マーケティング拠点



組織対応: 「中国計画室」を設置(04.6.29付)

中国における新規事業計画を全社的視点から推進



中国 BPA 新会社、中国 PTA 新会社の 04 中計での位置付け  
- アロマチェーンの収益力強化 -

アジア地域への拡大



拡大 (能力、単位: 万t/y)

・PTA	タイ&ネシア	80	133
・PET	タイ&ネシア	5	17.5
・PH	シガ	0	25
・BPA	シガ	7	21

原料系の強化  
・大阪工場での  
キュメン完全自製化  
10 28万t/y  
(完工は04/08)

01中計(01~03)

収益力強化

拡大 収益力強化に向け、  
最適な拠点で能力増強

(能力、単位: 万t/y)

・PTA	タイ	90	140
・PET			
・PH			
・BPA			

次期アジア拠点検討

原料系の強化  
・石油精製系との協調により、  
競争力ある原料アロマを  
確保

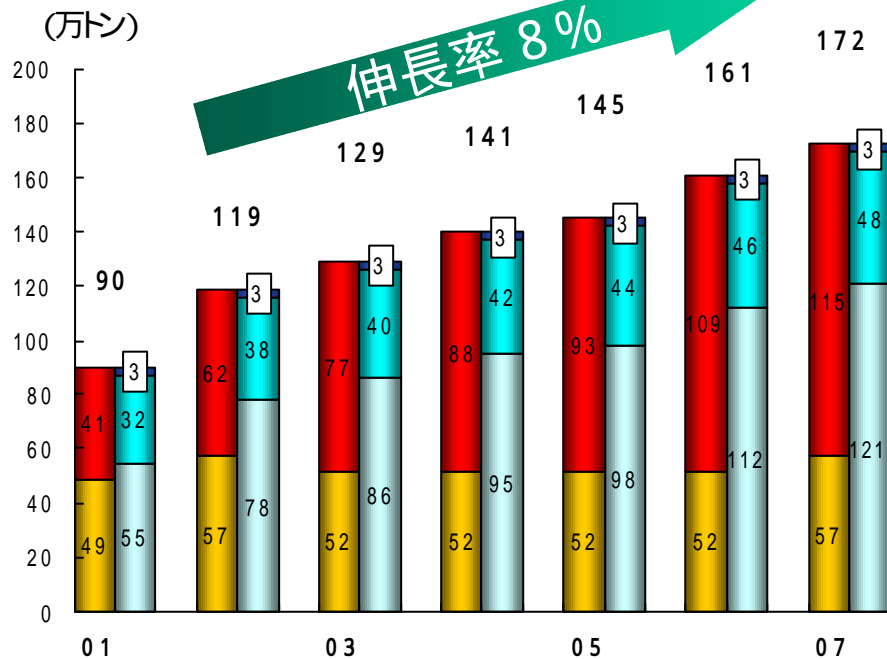
04中計(04~07)



(2) 中国での事業展開

# BPA / 高成長アジア（特に中国）での事業拡大を目指す

BPA需要(アジア)

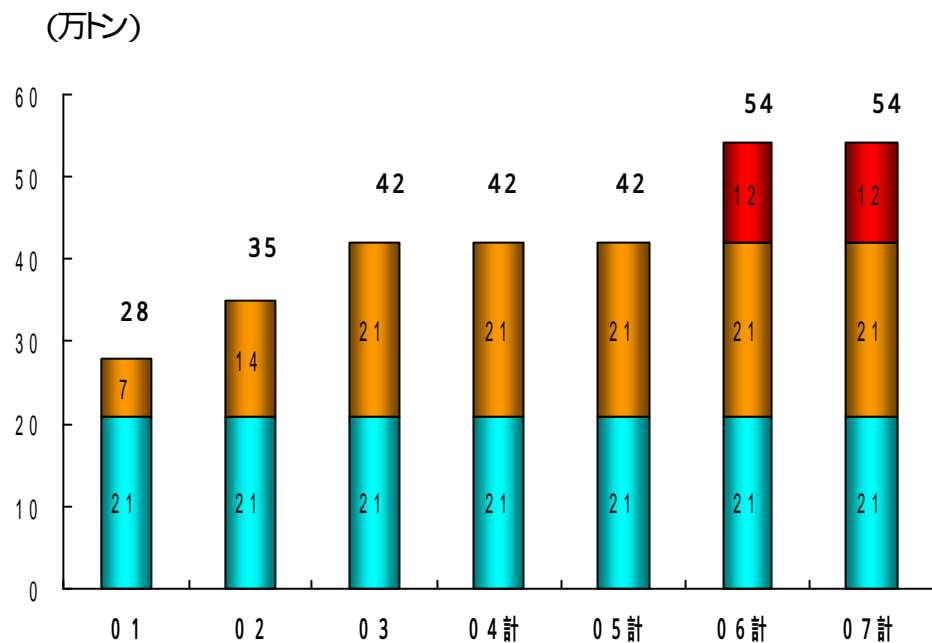


地域別  日本  中国含むアジア (当社推定)

用途別  PC  エポキシ  その他

中国を含めたアジア市場では年8%の伸長率を示す  
 ポリカーボネート向け用途は年率9%の伸長率を示し、  
 大きな成長が期待できる  
 国内需要伸びは期待できない

当社BPA生産能力



■ 日本 ■ シンガポール ■ 中国計画

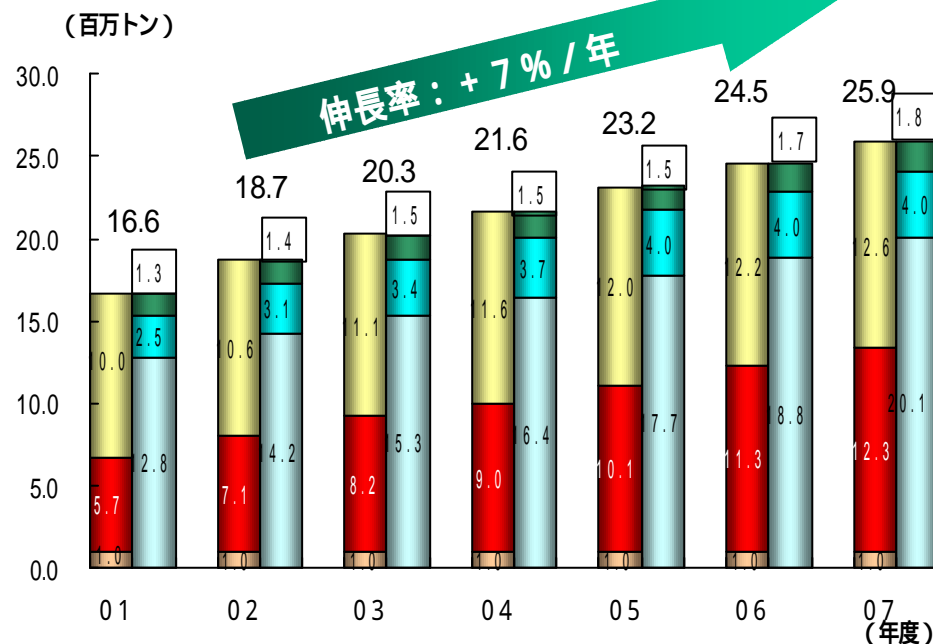
BPAの生産能力は42万トン/年で2位以下を大きく  
 離し**アジア第1位**

- ・2位グループの南亜、三菱に対する相対シェア2.1
- ・アジアでの総生産能力の**32%**

(2) 中国での事業展開

# PTA / 技術力 コスト競争力で中国市場を中心とした アジア成長需要の獲得を目指す

PTA需要(アジア)

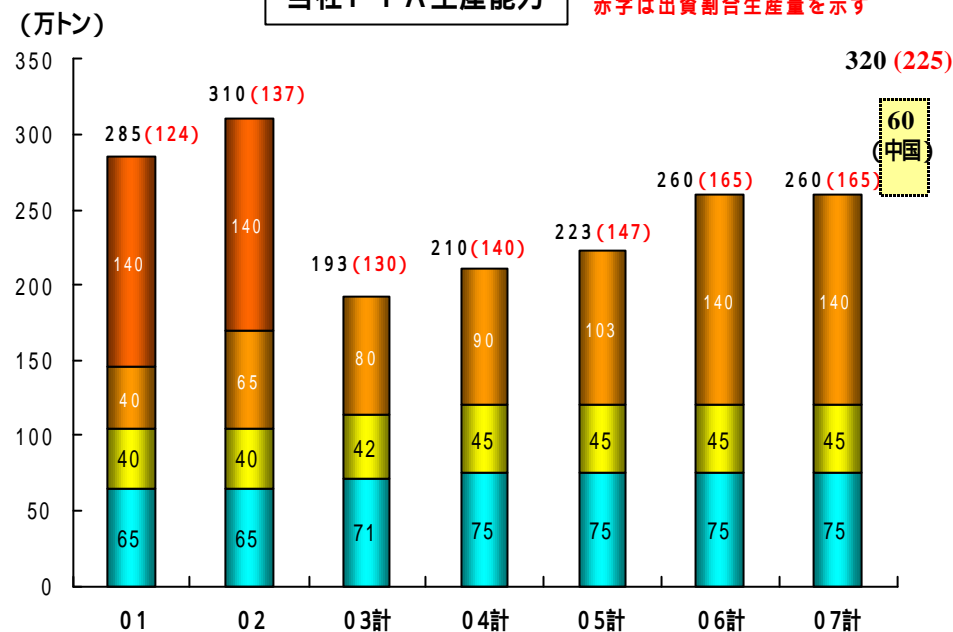


地域別	日本	中国	その他
用途別	繊維	ペットボトル	フィルム他

2003年度でPTA用途のうち、繊維用途は約80%

当社PTA生産能力

赤字は出資割合生産量を示す



日本	インドネシア	タイ	韓国
----	--------	----	----

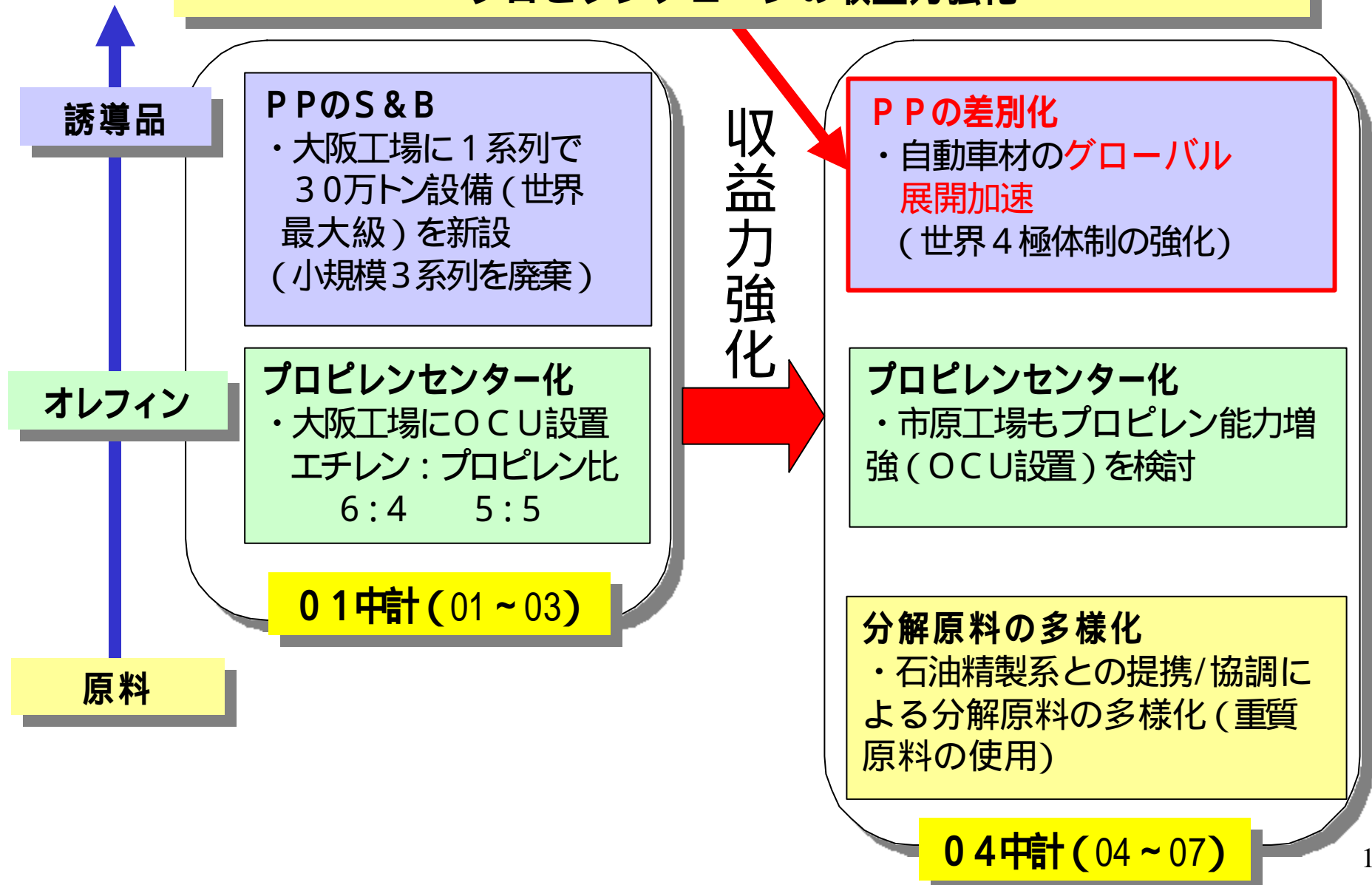
2003年以降における各拠点の拡充計画

- ・03年 岩国: +6万t
- ・04年 AMI: +3万t, SMPC増強: +10万t
- ・05年4Q SMPC 3号機: +50万t
- ・08年 中国: +60万t(申請中)

生産能力は**アジア第2位**、**日本第1位**

S P Cからの撤退により、トータル生産能力は減少するものの、  
出資割合生産能力は維持、増加する。

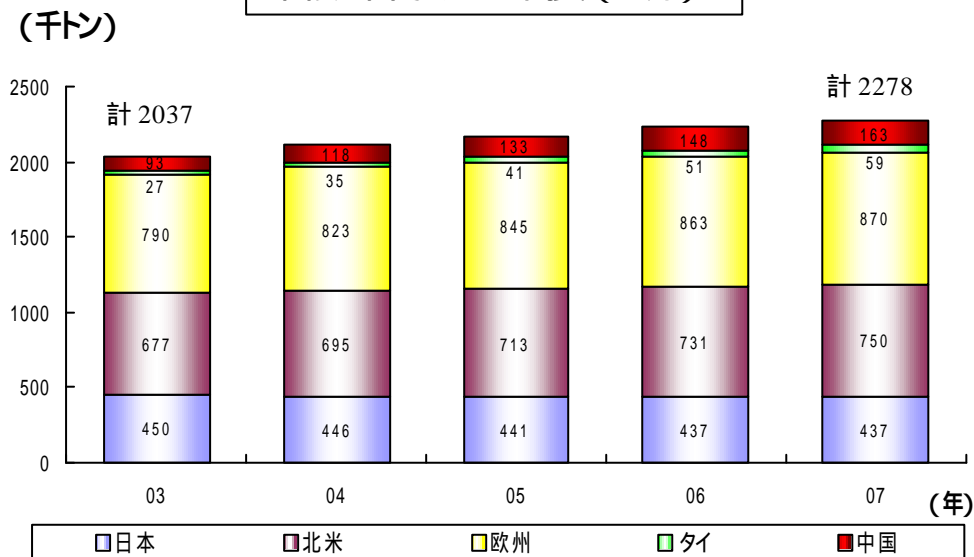
## 中国 PPコンパウンド新会社の04中計での位置付け - プロピレンチェーンの収益力強化 -



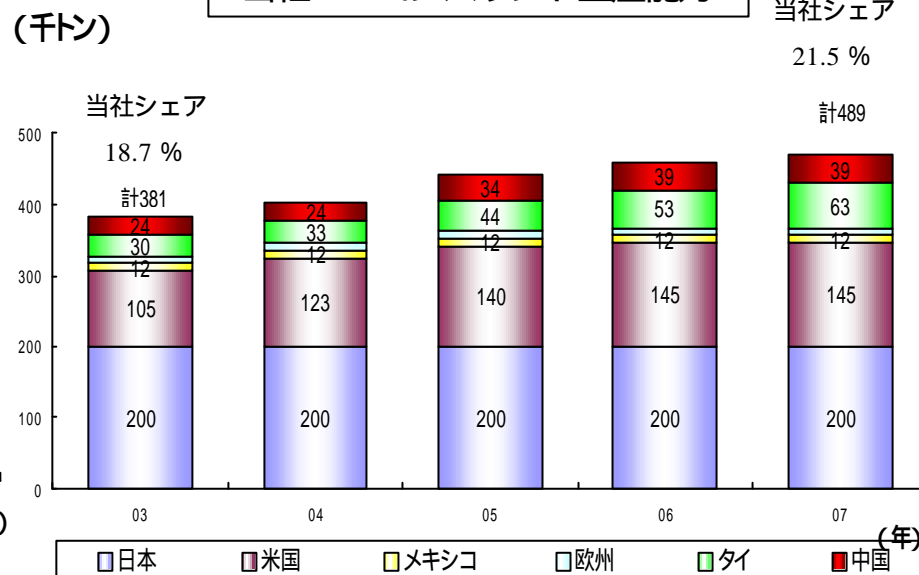
(2) 中国での事業展開

ポリプロピレン自動車材 / 日系自動車メーカーの4極展開に対応。特に急成長が見込まれる中国市場の需要増に対応した供給体制を整備

自動車向けPP需要(世界)



当社PPコンパウンド生産能力



PPコンパウンドの用途は自動車向けがメイン  
主に、バンパー、ダッシュボード、ドアトリムなど

アジアの需要(中国及びタイ)は、年率17%で拡大

北米市場も、年率3%で拡大

当社は、北米、アジアの生産能力を拡大している。  
当社の販売シェアは、世界第2位(1位はバセル)

中国は上海に加え、広東省中山市において05年に  
新工場稼働予定。

### (3) 出光グループとの協調検討

### (3) 出光グループとの協調検討

#### PO事業アライアンス / 04中計での位置付け

##### 全社基本戦略：

事業構造の改革と収益力強化

( 石化分野の収益力強化)

課題

国内石油精製・石化メーカーとの  
アライアンスによる構造改革の加速

方策

- (1) 提携先との包括的合意形成(04年2月3日)
- (2) **ポリオレフィン(PO)事業の統合**
  - ・PP事業のプレゼンス強化
  - ・PE事業の構造改革加速
- (3) 誘導品需要に応じたオレフィン構造改革
- (4) プロピレン・アロマの供給力の強化
- (5) 原料多様化・設備活用によるコストダウン

出光グループ  
との  
アライアンス  
実施

## PO事業統合計画の概要(その1)

### 事業統合方針

#### 1. 目的:

三井化学と出光グループの包括的提携の一部として、両社のPO事業を統合し、規模の拡大と生販研にわたるシナジー効果の発揮により、事業価値の最大化を図る

#### 2. 統合範囲:

地域 / 全世界、製品 / PP(含コンパウンド)、PE

#### 3. 統合会社機能:

POに関わる生販研一体の事業運営会社

## PO事業統合計画の概要(その2)

### 新会社概要

1. 会社名: 未定
2. 所在地: 港区汐留シティセンター
3. 営業開始予定日: 05年4月1日(予定)
4. 資本金: 200億円
5. 出資比率: 三井65:出光35
6. 取締役/監査役: 6名/3名
7. 会社設立方法: 会社分割制度を利用

### 統合シナジー効果

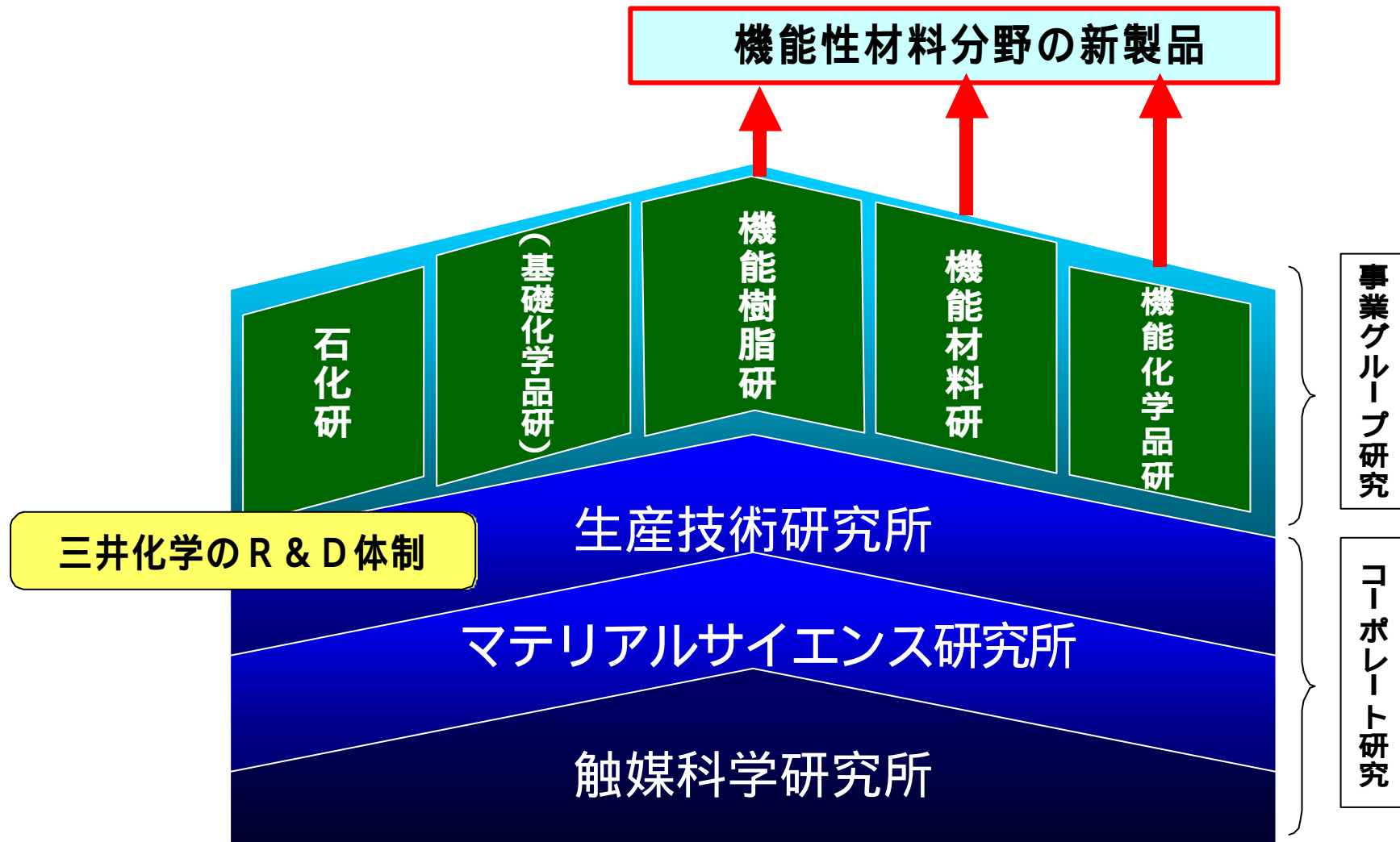
生産・物流・購買の合理化、技術シナジーなどにより、  
08年度までに国内で年間総額**60億円**以上を期待



## (4) 新製品の開発

## (4) 新製品の開発

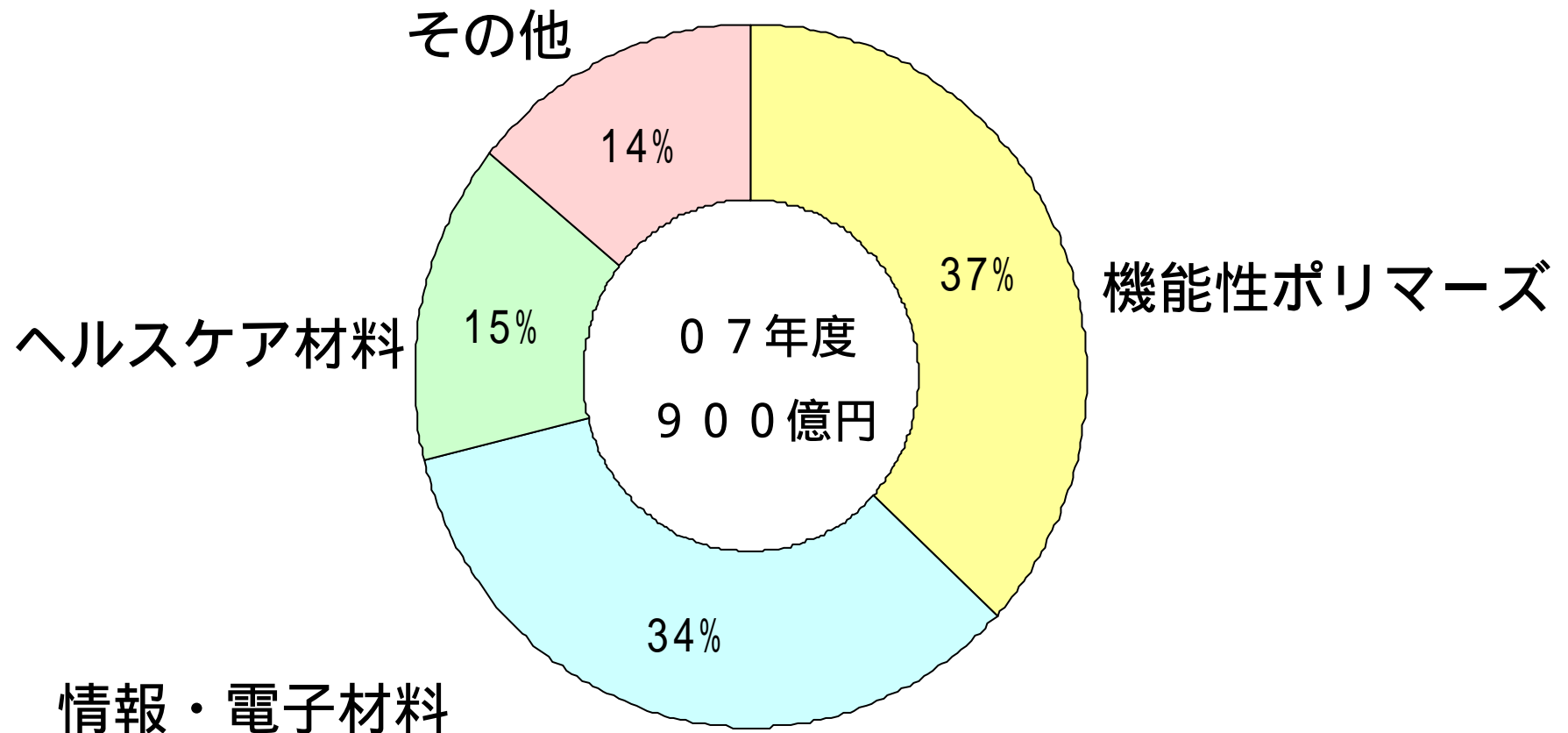
機能性材料分野の新製品開発を支える触媒科学



## 新製品の拡大計画

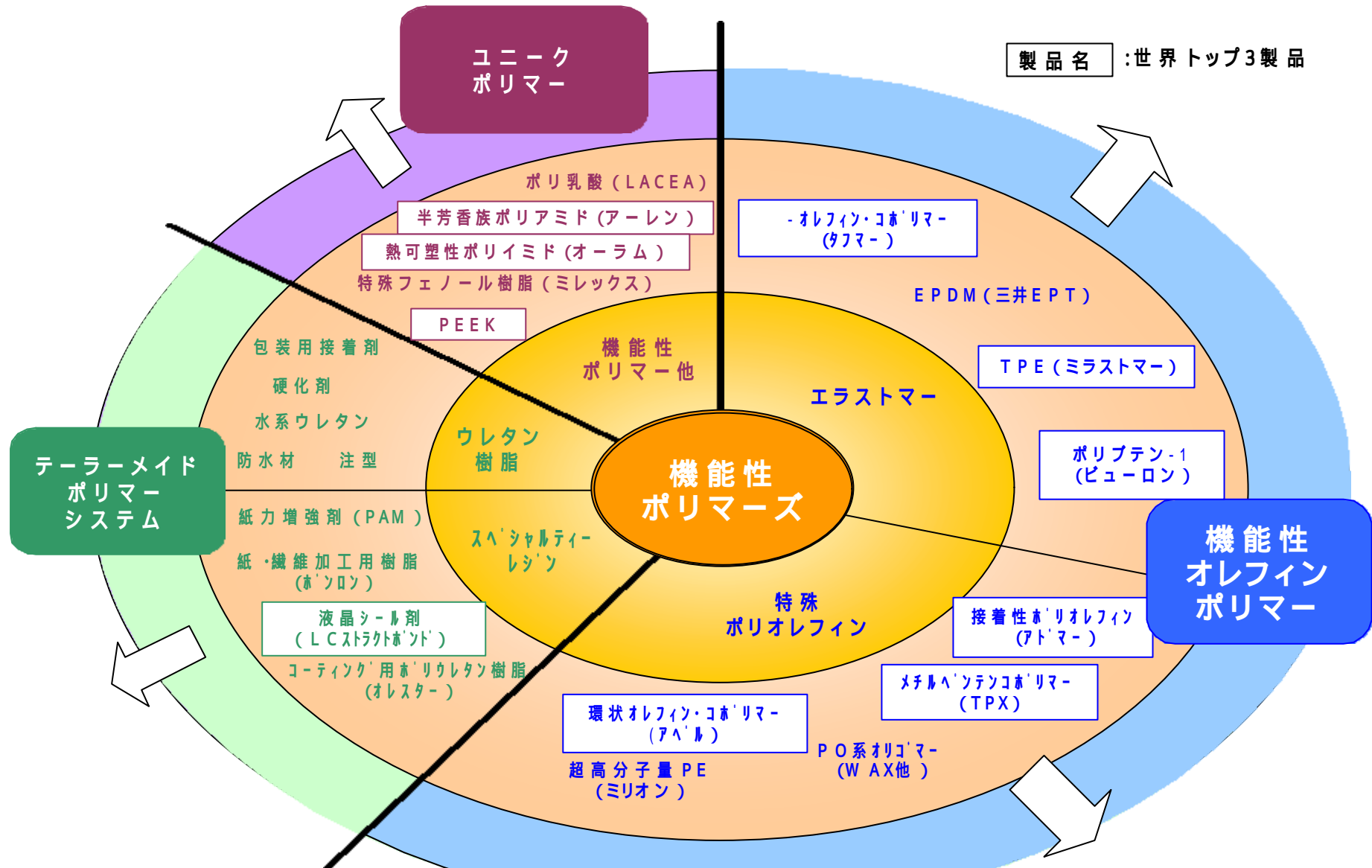
### 機能性材料分野売上高に占める割合

- ・ 07年度売上高の14%
- ・ 03年度からの増分売上高の40%



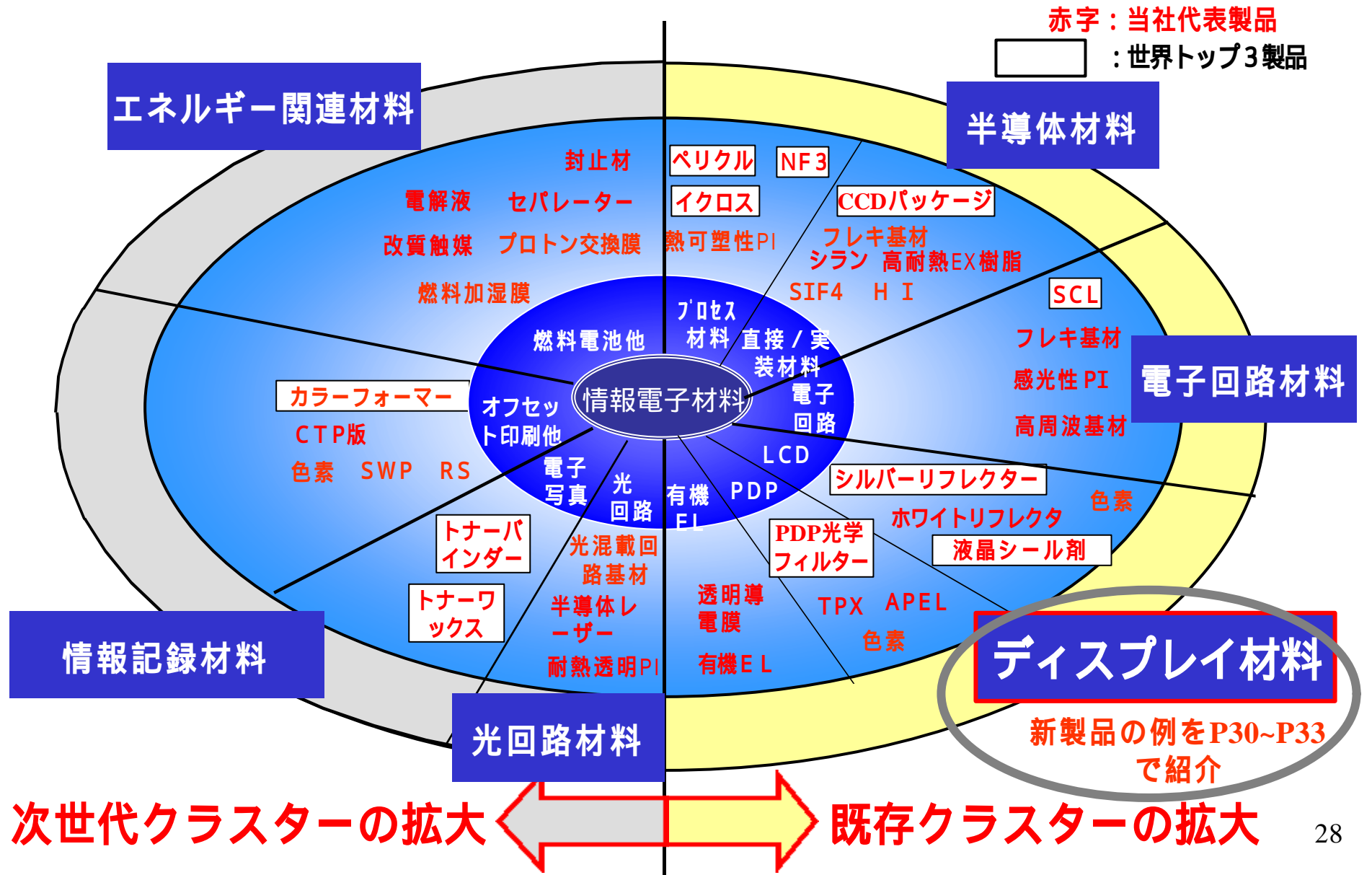
(4) 新製品の開発

# 機能性ポリマーズ事業の重点領域拡大

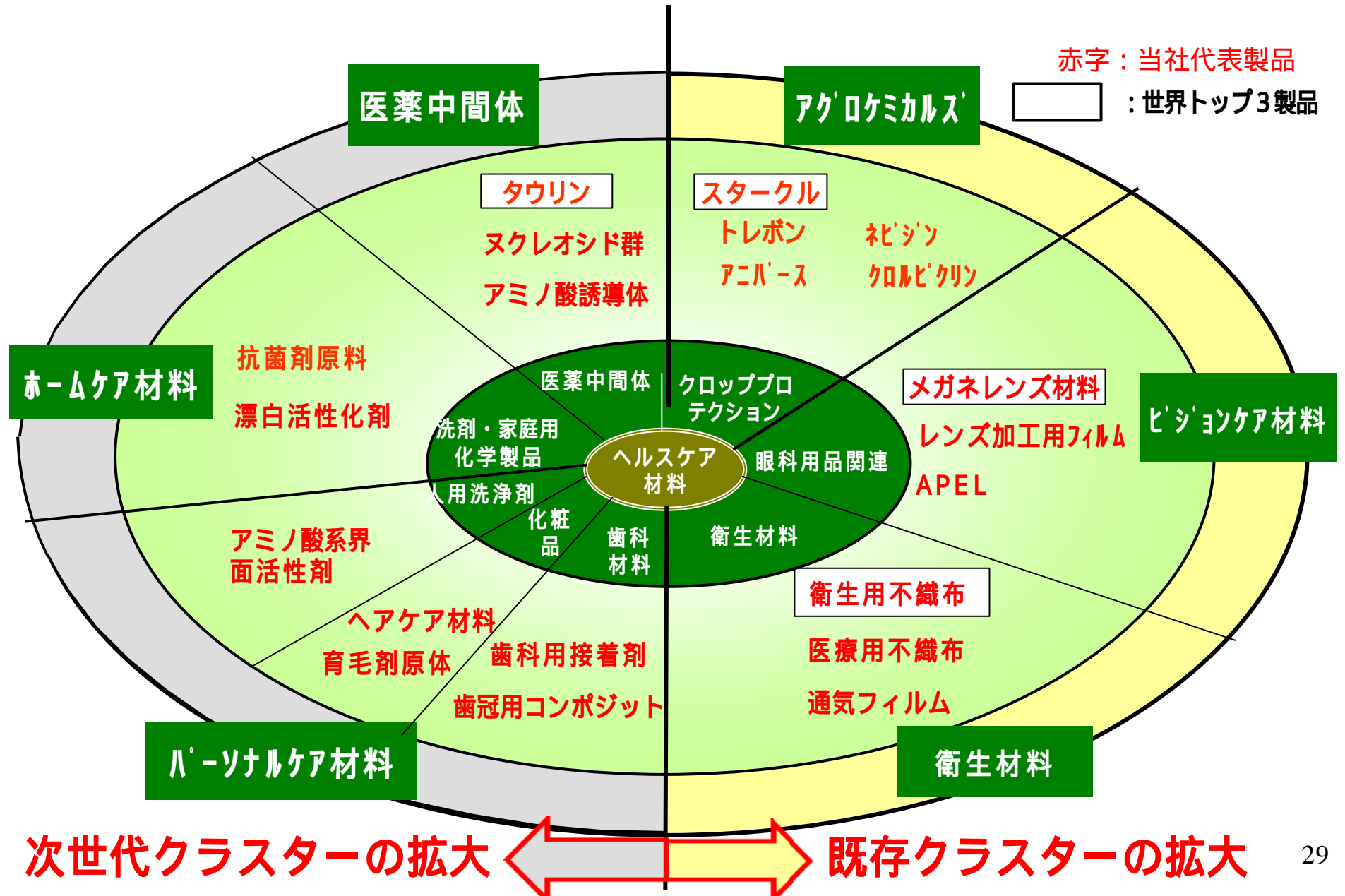


領域拡大のKSF 新規ポリマー開発・新規用途開発の加速

# 情報・電子材料事業の重点領域拡大



# ヘルスケア材料事業の重点領域拡大

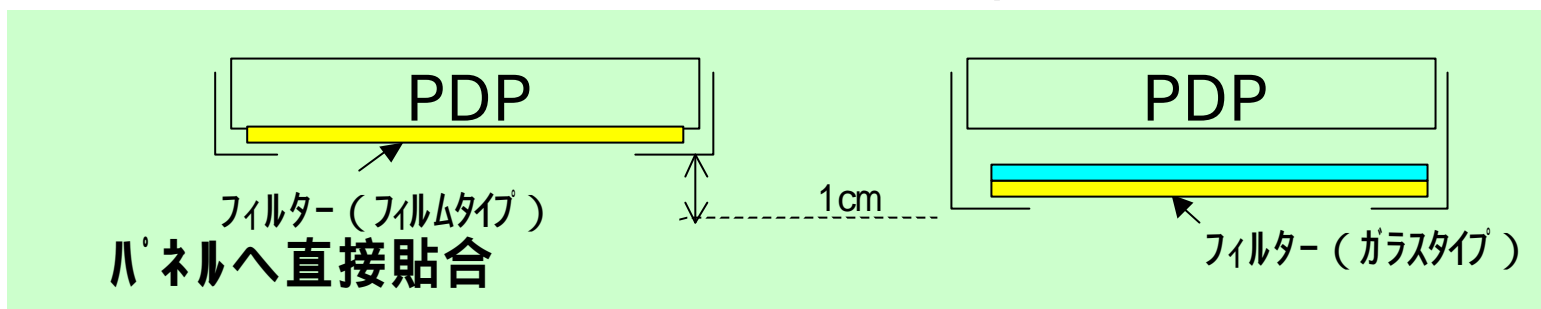


## 次世代PDP用光学フィルター(1/1)

ガラス基板タイプ(フィルトップ®)に加えて、新たにフィルムタイプ(フィルファイン:登録商標申請中)をラインアップ

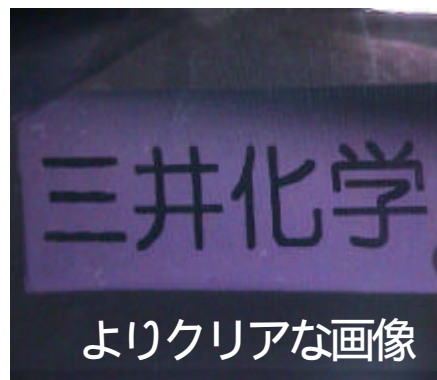
【フィルムタイプ】

【従来のガラスタイプ】



より軽く(1/12)、より薄く(1/10)、より鮮明に

【フィルムタイプ】

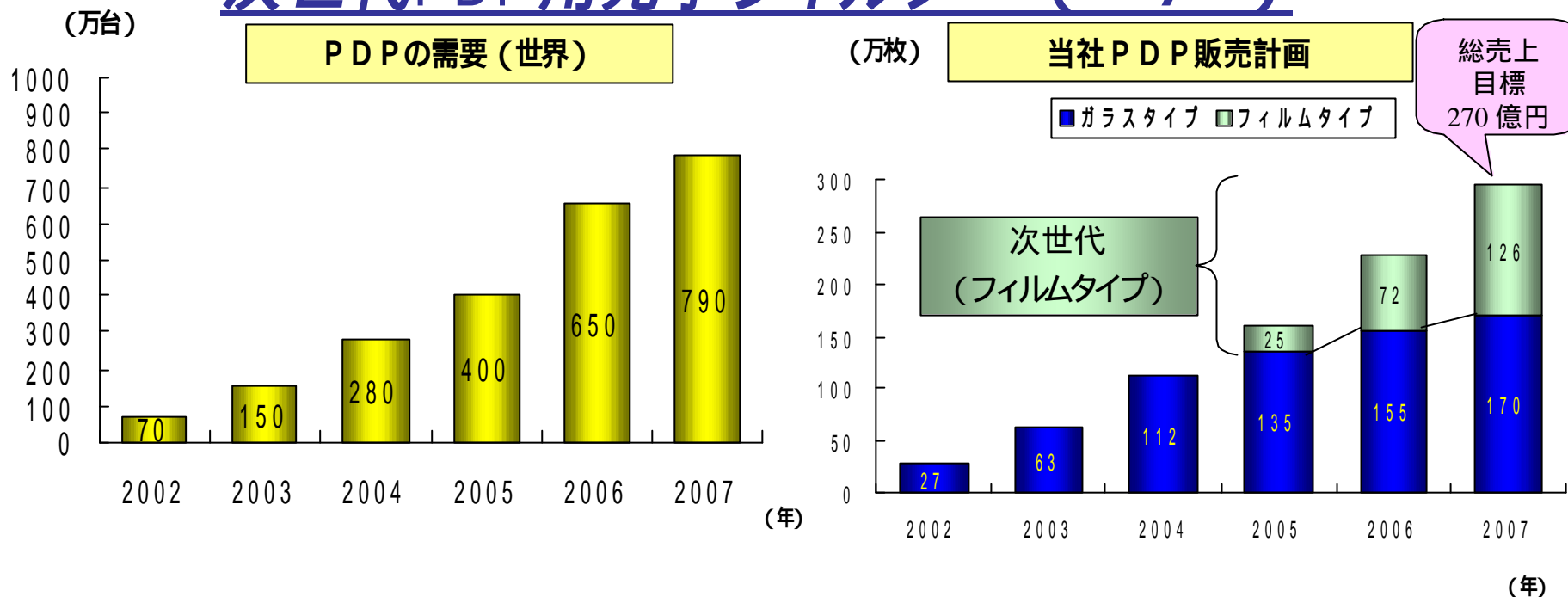


【従来のガラスタイプ】



お客様ニーズの先取りで、更なる事業の拡大・成長を目指す

# 次世代PDP用光学フィルター ( / )



**PDPの世界需要は、今後も年率40%以上の急拡大  
日本・欧州に続き、北米、アジアで需要拡大**

**当社は、欧州(ドイツ)に生産拠点を展開(04年)  
北米、中国も計画中**

**リードカスタマーとのデザインインおよび独自のロード  
マップに基づく商品開発で、事業の拡大を継続**





# LCD用高反射シート ホワイトレフスター® ( / )

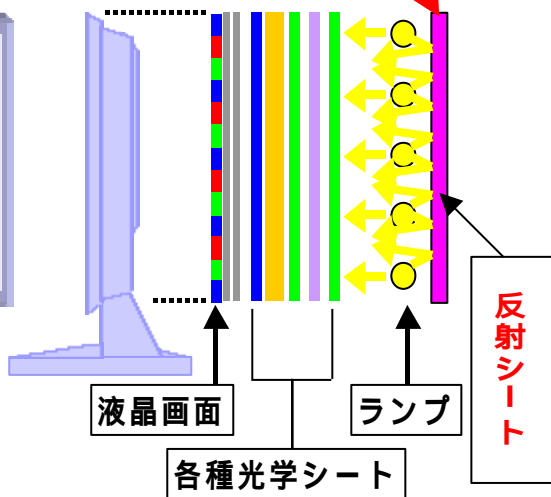
用途に応じた品揃えで、液晶向け反射材料分野の拡大・成長を目指す

用途		反射シート	ランプリフレクター	
携帯電話他		シルバーLED 増反射膜	スーパー	既存・主力製品
ノートパソコン	高機能	エンハンスター	シルバーリフレクター	新製品
	標準機能		シルバーリフレクター	次世代製品
テレビ		ホワイトレフスター		

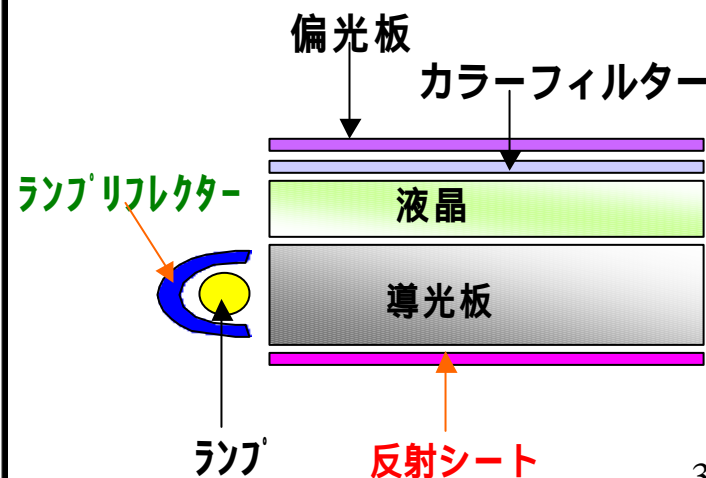
< 液晶パネルの構成 (液晶テレビ) >



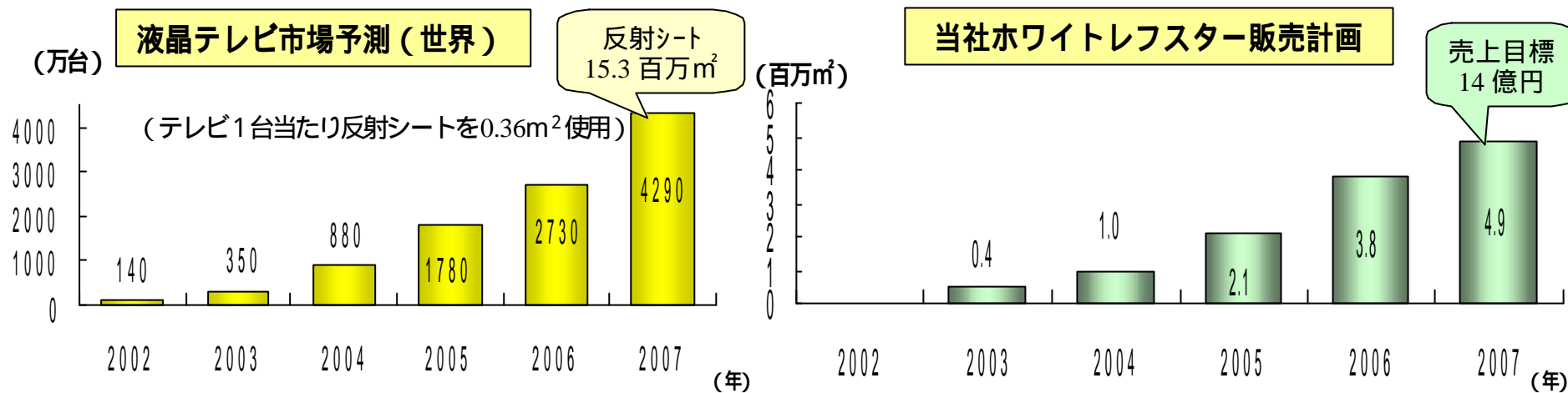
液晶テレビ



< 液晶パネルの構成 (テレビ以外) >



# LCD用高反射シート ホワイトレフスター® ( / )



**ホワイトレフスター**

液晶テレビをより明るく!

液晶テレビで採用始まる!  
(国内2社, 海外2社)

## 画面輝度を向上

- ・業界トップクラスの高反射率  
98%を達成

## 8万時間以上の長寿命を達成

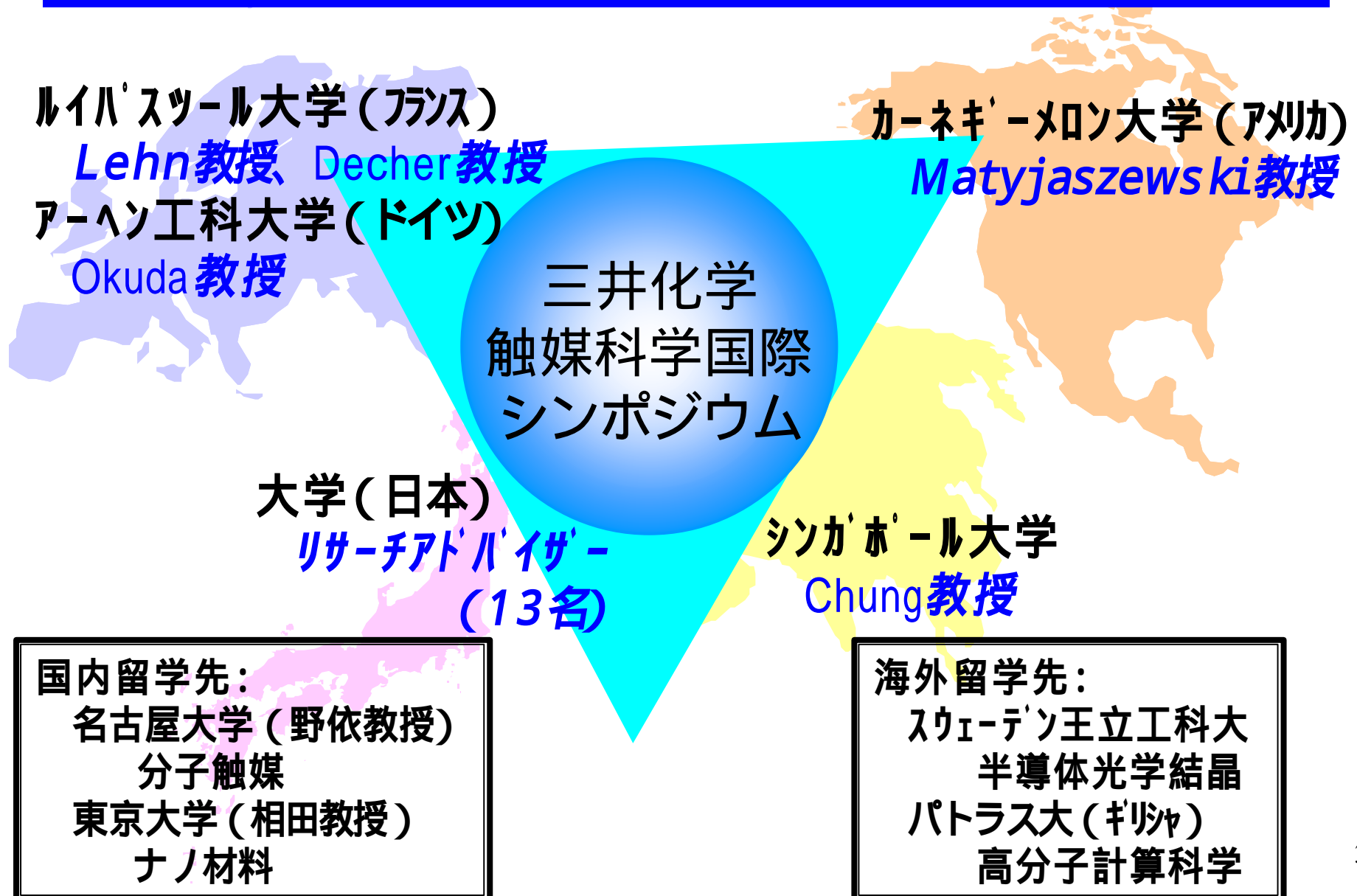
- ・ポリプロピレン樹脂ベース  
なので黄変しない  
(PET系材料は黄変しやすい)

## 用途(市場=約80億円@07年)

- ・液晶テレビ
- ・パソコン用モニター

## (5) グローバルな サイエンス・ネットワークの構築

## (5) グローバルなサイエンス・ネットワークの構築



(5) グローバルなサイエンス・ネットワークの構築

## 三井化学シンポジウム at ISIS-ルイバ<sup>o</sup>スツール大学

Mitsui Chemicals Symposium on Advanced Materials at ISIS-ULP

—新しい機能を発現させる先端材料—



ISIS: 超分子工学研究所

**目的:**

欧州の先端材料分野における  
研究機関との協調とビジネス機会創出

**招待講演:**

**レーン教授**(ルイバ<sup>o</sup>スツール大学)

**藤田 誠教授**(東京大学)

**ミュールハウプト教授**(フライブルグ大学)

**デッヒャー教授**(ルイバ<sup>o</sup>スツール大学)

**Okuda教授**(ア-ヘン工科大学)

**開催:** 2004年11月22日

**場所:** ルイバ<sup>o</sup>スツール大学ISIS(フランス)

三井化学  
第2回

## 触媒科学国際シンポジウム

The 2<sup>nd</sup> Mitsui Chemicals International Symposium on Catalysis Science (MICS2005)

—機能性材料の創出を目指したグリーン触媒最前線—

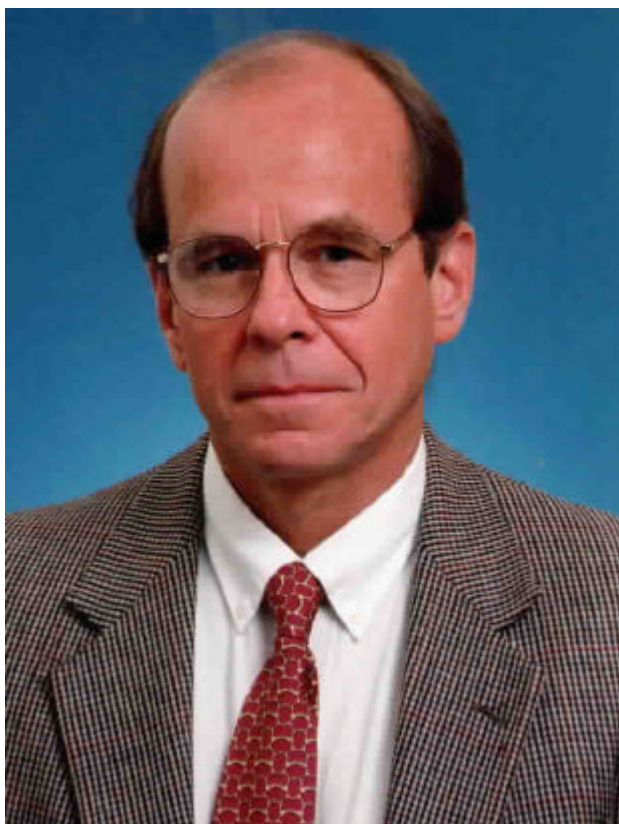
基調講演:

シャープレス教授

(Prof. K. Barry Sharpless)

米 スクリプス研究所

2001年ノーベル化学賞受賞



招待講演:

- ・シュロック教授 (MIT)
- ・ヤコブセン教授 (ハーバード大学)
- ・シェルドン教授 (デルフト大学: 杉村)
- ・グルーバー氏 (カーキルダウ社CTO)
- ・藤嶋 昭教授 (神奈川科学技術アカデミー)
- ・香月 勲教授 (九州大学)
- ・三井化学触媒科学賞受賞者

開催: 2005年3月22~23日

場所: かずさアカデミアパーク(木更津)

## (6) 三井化学 新情報システムが 順調に立上がる

## (6) 三井化学 新情報システムが順調に立上がる

### 1. 新情報システムの構成

「基幹システム(SAP R/3)」を中心に  
「SCMシステム」と「工場生産管理システム」  
を有機的に結合  
予算系(年度、期、月次)と実績系(SCM業務、業  
績管理業務、人事管理業務)をカバー

### 2. 稼動状況・評価

予算系	実績系
04年1月稼動開始	04年4月稼動開始
大きなトラブルもなく、 <b>順調に稼動中</b> 今後、 <b>業務革新の武器として活用していく</b>	





**Mitsui Chemicals**

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。  
従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先 : 三井化学株式会社 IR・広報室  
住 所 : 東京都港区東新橋1 - 5 - 2 汐留シティセンター  
電 話 : 03 - 6253 - 2100  
F A X : 03 - 6253 - 4245  
ホームページ : <http://www.mitsui-chem.co.jp>